

湘南にのみや 議会だより



(写真) こども版気候市民会議 (令和7年8月)
気候変動対策についてのアイデア発表

9月定例会 (9/1 ～ 9/25)

- ◆ 令和6年度決算 2～3
- ◆ 3議員が総括質疑 4～5
- ◆ 請願・陳情 5
- ◆ 補正予算、条例、人事、委員会活動報告、賛否一覧 .. 6～7
- ◆ 9議員が一般質問 7～11
- ◆ 委員会活動報告、シェアにのみや、会議日程 12



議会のHPIは
こちら



討論は
こちら



二宮町議会
YouTube

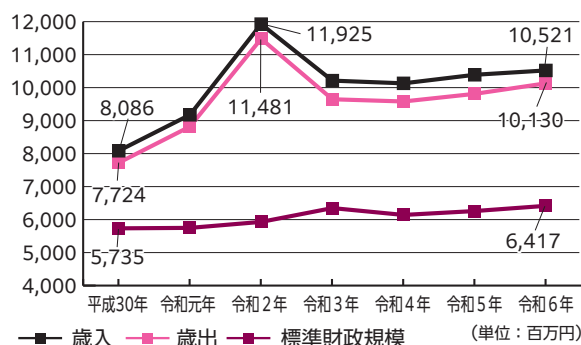
一般会計決算 101億3千万円（歳出）

総額170億円 〔下水道事業
会計を除く〕（一般・国民健康保険・後期

令和6年度実施 新しい重要な事業

- ラディアン周辺整備（新庁舎整備、ラディアン改修、(仮称)福祉会館）
基本設計 3,300万円
用地取得（果樹公園） 1億3,236万円
 - こども医療費助成の18歳までの拡充（全額） 8,850万円
 - 中学校給食無償化と小学校給食費の物価上昇分支援 3,793万円
 - こども家庭センターの設置 2,176万円
 - 二宮小学校下の雨水対策工事 2,100万円
 - 富士見が丘二丁目会館の新設 5,940万円
 - 地域集会施設の耐震診断の実施と耐震改修 2,830万円
 - LINE導入と庁舎窓口でのキャッシュレス決済の導入 493万円
 - 高齢者の戸別収集開始 22万円
- （千円以下四捨五入）

新型コロナ禍以降 決算規模拡大 歳入・歳出と標準財政規模

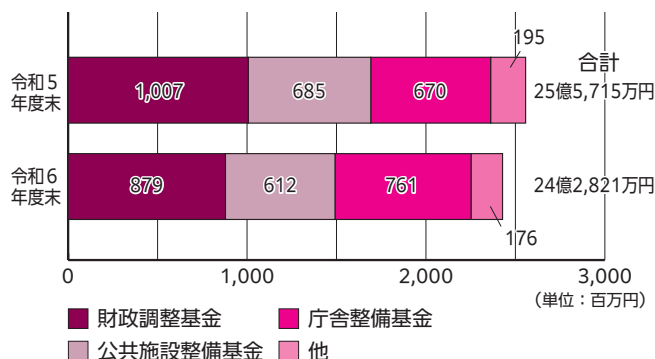


一般会計決算額は、令和元年から、物価上昇や国県補助事業の拡大に伴って増加



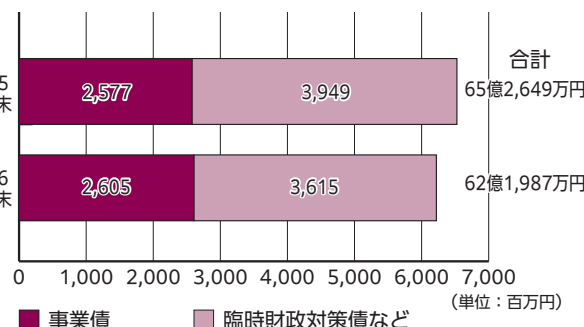
基金

公共施設改修などにより基金取り崩し
残高は約1億3千万円減



町債

消防庁舎・学校改修のため町債発行
昨年に比べ残高は約3億円減



前年度比3億2千万円増

高齡者医療・介護保険）下水道事業会計 { 収益的支出7億3千万円
資本的支出7億2千万円

討 論

賛 成

子ども・子育て支援、物価高騰対応支援など町民の命と暮らしを守る事業の実施を評価。

(岡田)

新庁舎、消防庁舎等建設事業と気候市民会議や学びの教室等の社会作業療法的施策を評価。

(一石)

令和6年度行政評価で9事業を要改善とし将来を見据えた事業の在り方を真摯に検討した。

(古谷)

反 対

担い手育成・地域経済活性化施策の弱さ、統廃合ありきの小中一貫教育校推進は問題。

(渡辺)

新庁舎建設を推進する一方で既存施設のずさんな維持管理。多くの施設で雨漏りを放置。

(松崎)

敬老祝い金減額、新庁舎整備の説明不足、多額の不用額、町民福祉への貢献に大いに疑問。

(浜井)

町政の信頼を揺るがす防災、新庁舎、交通、職員環境などの課題を指摘。速やかな改善を。

(大沼)

審査意見

決算審査特別委員会は、審査中に出された要望を精査して、特に重要な点を8つ決定し、議会として決議しました。

1. 「いのちの授業」と「こころの健康講座」は、さらに児童・生徒や保護者を巻き込んで、こどもにとって最も良い取り組みに繋がりたい。
2. 防災・減災は、住民一人ひとりがリスクを知り、適切な対応が取れるように、地域、学校、行政による協働の体制を作りたい。
3. 遊休・荒廃農地対策及び里山再生育成は、流域治水の観点からも一本化し、部署横断的に進められたい。
4. 保育・介護の人材の育成・確保について、処遇改善等、抜本的な施策を検討されたい。
5. 管理・監督者が、若手職員を大事にし、さらなる信頼感をつくり、休職者ゼロとなる職場環境を目指されたい。
6. 防犯カメラは、プライバシーの確保に留意しながら設置台数を増設されたい。
7. 有害鳥獣対策は、住民の被害実態に適切に対応し、被害拡大を防ぐための業務を遂行されたい。
8. 音声を文字化する機能など、様々な事業に新たなデジタルツールの導入を検討されたい。



「二宮町気候非常事態宣言」に掲げた「千年続く循環するまちづくり」の推進を象徴するロゴマーク

決算総括質疑



無所属

一石 洋子 議員

社会作業療法的な新しい
教育、環境、防災施策を

Q 喫緊のこどもの権利の視点からの不登校児童生徒を包摂する仕組み、オーガニック給食（生態系・食育、農政）を含む流域治水の郷土の環境×防災減災施策は国策の一丁目一番地。気候市民会議の実績をグレードアップし、協働の仕組み含めた新しいコーディネートビジョンは。

A 不登校対策は通年課題として、学びの多様な学校も議会とともに視察。施設一体型小中一貫教育校の可能性、部活動や学区のあり方等現状検討課題は多岐にわたる。通級指導教室であるまなびの教室やことばの教室の全小学校配置、地産地消給食の推進、JA湘南等関係機関との連携、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に市民提案を反映、里山保全、再生、活用の県補助金を活用。また流域治水の講演会を県、流域市町と協働開催。新庁舎外構は気候市民会議提言を生かすデザインを令和10年度より施工予定。職員も必死で国の施策や助成金を研究中。

Q 行政らしい今の続きの一步では遅い。毎年教育講演会は先進のテーマで評価しているが町内の子どもたちが自尊感情・地域への関心や関わり・国際的視野などについて課題がある状況は非常に残念。教育現場に学校内作業療法室を設置した飛騨市の社会作業療法によるまちづくりは出色。学校の先生の負担軽減や研究に資している。費用はふるさと納税も活用、あらゆる沼地をいなす新しい風だ。また「食べることは生きること」、SDGs施策のハブは学校であるべきだ。先進自治体に学ばれたい。

A 作業療法士は令和7年度からこども家庭センターに配置しており効果は確認。作業療法士を活用した取り組みは研究する。提案を受け止め町民の方と一緒に二宮の未来を作りたい。



その人らしい暮らしを作る
新しい社会作業療法でケア
する自治体を創出



日本共産党

渡辺 訓任 議員

担い手、環境・防災対策、
地域経済を優先課題に

Q 新庁舎整備の財政負担増でくらし関連事業への圧迫が心配。財政見通しは。駅前複合施設等の事業見直しが必要ではないか。

A 現時点では予定どおり。大型事業の目処が立った時点で、次の事業について見直す。

Q 小中一貫教育校について、長く町民への直接説明がされない。設置研究会の提言は重要課題を示すが、取り組みの状況はいかがか。

A 施設一体型一貫校は2040年頃に適正規模での設置を構想していたが、児童生徒数の減少の鈍化、中学校35人学級の段階的導入など状況が変化。学校の小規模化、中学校の部活動の縮小など課題解決と合わせ、様々な可能性を検討する。

Q 暑さ対策として学校体育館の空調整備は。

A クーリングスポットの設置、学校体育館への空調設置は検討中。個人宅への空調設置補助は考えていない。

Q ゼロカーボンシティ宣言は評価。気候市民会議の提言はどのように活かされるのか。

A 町の環境基本計画に組み入れるなどして、具体化を図る。LED化なども予算化した。

Q 地区や介護などの担い手の育成・確保は最重要課題の一つ。どのように進めてきたか。

A 地区長連絡協議会で問題を取上げ研究を進めている。地区社協でも問題を共有化するとともに、事業者に対する支援は進めている。

Q 地域経済の活性化が見えない。エネルギーの地産地消も含めて、力を入れるべきだ。

A 商工会などの既存組織はもとより、新しい事業者の取り組みを支えていく。エネルギー地産地消は市民力も活用し、拡充を図りたい。

※他に物価高騰対策、中学校給食無償化など。



酷暑の中、運動の場や避難所の機能確保のため、学校体育館の空調を！



無所属

野地 洋正 議員

振り返り→課題を抽出→
対策を練り→次へ繋げ！

Q 施政方針「各まちづくり」を問う。
「公共施設の利便性、機能性を高めるまちづくり」
について。

A 役場新庁舎整備は、建設費や物価の高騰が
大きな課題と捉えている。実施設計や工事を進
めていく中で対応し着実に進めていく。天然記
念物指定エリアについては、県が指定する箇所
を確認した上で取得しているが、区域の変更や
取得用地の整備においては改めて県と協議をし
ていくこととなっている。

Q 「子どもの笑顔がかがやく、子育てと教育の
まちづくり」について。

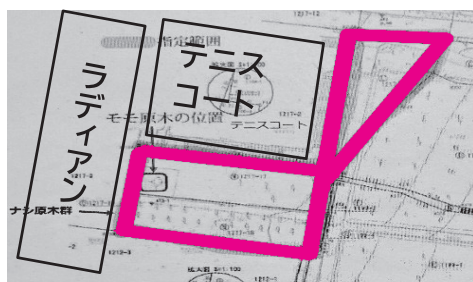
A 給食費無償化を良かったとする人は多いと
思うが、逆に給食に対する関心を奪ってしまった
のではないかと危惧もある。しっかりと情
報発信をしていく。施設一体型小中一貫教育校
の設置は、目標から少し遅れるかもしれないが、
具体的検討を進めていく。

Q 「誰もが自分らしく安全・安心に暮らせるま
ちづくり」について。

A 個別避難計画は町が主体となって作成、地
域福祉支援システムの強化もあり順調。地域へ
の過度な負担もない。高齢者等ごみ出し支援に
ついては、出し方、収集作業体制などの課題も
見えてきた。福祉部とも連携し深めていく。

Q 「新しい時代に向けて、しなやかに対応する
まちづくり」について。

A 普通財産については、民間への貸し付けなど
有効利用を図るとともに、未利用地の活用につ
いても財源の確保につながるよう研究している。
支出をチェックし歳入を増やす、とする基本的
な施策をしっかり進めていく。



県天然記念物「ナシ・モモ原木群」
実はこんな形だった！

請 願

- (請願第1号) 神奈川県フリースクール等利用児童・
生徒支援事業費補助金を活用した支援制度の創設
に関する請願 賛成多数で採択 (12:1)

請 願 者：加藤瑠衣子

紹介議員：一石、小林、根岸、羽根、古谷

要 旨：過去最多を更新する不登校児童生徒の安
全基地として機能してきたフリースクールの費用補
助制度を持つ自治体に、県が一人月1万円もしくは
補助率3分の1まで支援する制度ができたことから
二宮町も補助制度を持つこと、こども基本法に基づ
き、子どもの健康・安全と学びの継続に配慮し、選
択の際は子どもの意見の尊重を求めるもの。

賛成討論

- ・不登校児の親に経済面も含め多様な支援、加えて
抜本的な問題解決の取り組みが必要。(渡辺)
- ・不登校児童生徒の学びの繋がりや居場所の下支え
にフリースクール利用料補助制度が必要。(岡田)
- ・教員免許不要のフリースクールが万能とは思わな
いが、困窮家庭があり、後手対応を改めよ。(大沼)

反対討論

- ・請願者の心情を理解。認知症予防と幼少期教育機
会担保の関連性を共有した上で助成を。(松崎)

陳 情

- (陳情第6号) ウォータースタンドについて
全員一致で採択

請 願 者：田原知規

要 旨：町内の小中学校に各2台ずつ設置されて
いるウォータースタンドのうち1台を冷水機能付き
のものに変えること、特に部活動をしている中学校
については喫緊の対応を求めるもの。

賛成討論

- ・学校のみならず、町施設どこでも町民が水を飲め
るような冷水機の整備を求める。(渡辺)
- ・40度超えも続く日が来ると予想。子どもたちの切
実な想いを受け、冷水機の設置は必要。(小林)
- ・行政が学校備品を積極的に整備すべき。猛暑で冷
水機が必要な現状を考慮出来ず問題。(大沼)

- (陳情第7号) 未来に向けて町制100周年を機と
した防災と二宮らしい魅力づくりの推進を求める
陳情 全員一致で採択

請 願 者：まちづくり工房「しおかぜ」

代表 神保智子

要 旨：自治体の使命「住民の生命、財産を守る」
を念頭に昨年8月の豪雨災害を総括する災害発生要
因、防災課題、対策、将来への取り組みなどを盛り
込んだ報告書の作成と住民への説明、新庁舎建設に
伴う県指定天然記念物等植物、土壌、治水、歴史を
学ぶ場の創出、町制100周年を機に「郷土学習」(ロー
カルナレッジ)の醸成を求めるもの。

補正予算

●（議案第45号）一般会計補正予算（第4号）

全員一致で可決

歳入を2億3,351万円追加し、総額を105億2,296万円とするもの。

主な歳入

- ・前年度繰越金 1億3,058万円
- ・普通交付税（基準算定需要額が物価高で上昇） 6,475万円
- ・子ども・子育て支援交付金（国庫補助金）
（学童保育所等の補助基準単価改正） 166万円

主な歳出

- ・財政調整基金積立金 1億8,100万円
- ・学童保育所維持管理経費 220万円
- ・道路維持管理経費（道路、水路の緊急対応） 211万円
- ・公園等維持管理運営経費
（吾妻山公園ローラー滑り台修繕70万円他） 138万円

賛成討論

- ・繰越金、地方交付税など増で2億3400万増額のうち、事業には330万円とは残念。（渡辺）
- ・こどもの意見表明権は赤ちゃんから障がい児者も対応必要。観光協会職員は新たな資源を。（一石）
- ・子育て先行策がなく残念。交通難解消に向けスピード感のある対応と次期予算反映に期待。（大沼）



吾妻山公園ローラー滑り台



学童保育（二色小）

条例

●（議案第41号）二宮町議会議員及び二宮町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例

全員一致で可決

公職選挙法施行令の改正に伴い、選挙運動用ビラを1枚あたり7円73銭から8円38銭に、ポスターを1枚あたり541円31銭から586円88銭に公費負担単価を変更するもの。

●（議案第42号）二宮町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する条例の一部を改正する条例

賛成多数で可決（12：1）

デジタル庁の標準仕様に準拠するため、住登外者の宛名情報を管理する機能を設け、個人番号の利用範囲を拡大し、庁内で情報を連携できるように情報管理を追加するもの。

反対討論

・各自治体が独自に育てた住民サービスや対応を見直し、国の標準に合わせる標準化に反対。（渡辺）

●（議案第43号）二宮町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

全員一致で可決

仕事と育児の両立支援を目的とし、妊娠・出産時や3歳未満の子を養育する職員に制度を周知し意向を確認のうえ尊重する。介護休業に関する条項の整理も含むもの。

●（議案第44号）二宮町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

全員一致で可決

前号の改正を受け、従来の1日単位の部分休業に加え、年10日相当を上限とする部分休業を創設する。法改正に伴う文言の整理と共に育児部分休業制度を拡充するもの。

人事

●（議案第39号・40号）人権擁護委員の推薦

任期は3年

全員一致で同意

二宮在住

富士見が丘在住

うえだ
上田
さくた
作田

あきのり
昭紀氏
まさひろ
雅弘氏

新任 74歳

新任 68歳

議会運営委員会

【議員定数について】 現状の議員定数「14名」は、当面妥当

町民からの議員定数削減の意見を受け、議運で8回の調査研究会を行いました。

委員会内では、議員活動の仕事量の確認、県内の町村データの比較等をし、多様な意見が出されました。結果として、現状の定数については概ね妥当でした。

将来の町の変化（人口減、デジタル化、役割の進化）や、県内町村で定数減をした議会の動向をみながら今後も継続的検討が必要と判断しました。

詳細はQRコードからホームページでご確認ください。



各議員の議案等に対する 賛成・反対 は？

		結果	渡辺 訓任	小林 幸子	岡田 幸次郎	一石 洋子	羽根 かほる	小笠原 陶子	松崎 健	浜井 直彦	根岸 ゆき子	古谷 健司	善波 宣雄	大沼 英樹	野地 洋正	前田 憲一郎
番号	請 願 名															
請願 1	神奈川県フリースクール等利用児童・生徒支援事業費補助金を活用した支援制度の創設に関する請願について	採択	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
番号	陳 情 名															
陳情 6	ウォータースタンドについて	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情 7	未来に向けて町制施行100年を機とした防災と二宮らしい魅力づくりの推進を求める陳情について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案番号	町長提出議案名															
39	人権擁護委員の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
40	人権擁護委員の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
41	二宮町議会議員及び二宮町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42	二宮町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	二宮町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
44	二宮町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	令和7年度二宮町一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	令和7年度二宮町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
47	令和7年度二宮町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	令和7年度二宮町介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	令和6年度二宮町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	●	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
50	令和6年度二宮町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
51	令和6年度二宮町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	令和6年度二宮町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
53	令和6年度二宮町下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長は表決に加わりません

※議案等に対して、○は賛成、●は反対を意味しています。

一般質問

※記事は質問者から提出された原稿を掲載しています。



無所属
羽根 かほる

問

1. 今後を見据えた地域課題の解決策は
2. 内部統制の必要性は

答

1. 行政が中心となり横の連携を広める
2. コンプライアンス意識の浸透をはかる

1. 地域課題への取組

Q 地域の課題は多様化している。横浜市では社協や民生委員、商店街、学校など地域の横のつながりを強化する協働を行っている。また、地域の課題解決に向けた活動団体への専門家によるサポートの仕組みがある。町内各団体の横の連携についてどう考えているか。

A 福祉分野では地域包括ケアシステム、高齢者の見守り、防災、また、個別避難計画は民生委員と様々な連携はできている。各地区の状況について地区間の情報共有などを含めて、横の連携が広げられるよう、町民課を中心に行っていく必要がある。

【要望】 地域の課題は多様化している。解決は急務。行政は今後を見据えた連携の仕組み作りを。

2. 内部統制の必要性

Q 記者発表が必要となった事務ミスは何件か。

A 令和4年度3件、5年度3件、6年度4件。

Q 内部統制制度で必要とされている、業務の効率、効果、法令遵守と再発防止策の決定後に、その方法が適正に行われているかを確認しているか。

A 全庁での確認やチェックは行われていない。課長会議などの機会を通じて、ヒヤリ・ハット案件を中心に再確認をする場をつくり、コンプライアンス意識の浸透をさせていく。

【要望】 法令遵守も含め、組織全体での事務処理チェック機能の強化を。



横浜市の支援と民間団体で整備されたウッドデッキ

一般質問



無所属

古谷 健司

問 「自由学区」を質問してから10か月が経ったが、その間に何を議論したのか

答 他の自治体が自由学区を取り入れているかいろいろ情報を集め、今整理している

① 二宮町公園統廃合計画の現状について

Q 公園統廃合計画は、次の世代の負担軽減に向けた適切な配置と運営の方策を示すことを目的とした他市に類をみない素晴らしい計画である。借地で運営している4つの公園は、借地解消をしていくのか。

A 山西の子どもの広場と越地の借地の公園は、返却した。残り2か所だが、今後も借地解消に努める。

Q 緑が丘公園はバスケットゴールがあり中学生に人気だ。このような公園を造ってもらいたいが。

A 遊具が充実した公園と、ボール遊びや原っぱ遊びのできる公園の使い分けにより、魅力を創出すると基本方針で示した。それに基づいて、防球ネットを設置したボール遊びのできる公園を2つ整備した。

Q 二宮町公園統廃合計画にある中里高架下の広場

の「ドッグラン」は、いつできるのか。

A 「ドッグラン」は、公園統廃合計画の見直しの中で、どのように進めていくか改めて検討したい。

② 全ての小・中学校を自由に選べないか【No.2】

Q 百合が丘地区や中里地区から指定校の西中ではなく、二宮中へバス通学を検討したことはあるか。

A 入りたい部活が、進学予定の中学校になく、他の中学校にあるため進学校を変更したい時は、指定校変更により対応する。この場合、百合が丘地区や中里地区から二宮中学校へのバス通学も考えられる。昨年の指定校変更は10件以上あった。



「ドッグラン」を中里高架下の広場につくって欲しい



無所属

岡田幸次郎

問 青少年指導員・スポーツ推進委員の選出及び今後の青少年健全育成について

答 両委員選出は公募。子ども達と顔が見みえる関係で社会教育を通じ育成に努める

Q 両委員の選出を公募にした背景は何か。

A 少子高齢化による人口減少や生活形態等の多様化により、現在地区からの選出となっている委員選出の負担やイベント参加者の確保の難しさといった課題などが表面化してきており、それらを背景に選出方法について公募方式を採用する考えでいる。

Q 公募後の協議会人員は事業計画の規模や運営面からも15～20人体制が必要と思うが体制減対策は。

A 現在の事業ベースで考えると、やはり20人以内という中で、できるだけその数が大幅な人数の減少にはならないよう、周知徹底に努めていきたい。これまでの委員さんのつながりであるとか、関係団体などにも情報をしっかり共有しながら、公募に向けての展開を図りたいと考えている。

Q 子ども、シニアの育成は、地域・中原地区に任せっぱなしで良いのか。今後のサポートは。

A 育成について地域に任せっぱなしということではなく放課後子ども教室などの展開、また青少年指導員活動などを通して、育成に努めていく。サポートとしては脱会や解散する子ども会もあり、町内一律に支援することが難しく、不公平感も生じる。子育連とも協議し、令和7年度予算より補助金はない。

【要望】子ども会活動は地区に任せるのではなく財政的・組織的援助を研究して、存続する子ども会には、町として体系的な支援の検討を求める。



一色緑が丘子ども会の大人と子どもが楽しむカレー会



無所属
浜井 直彦

問

町の地域公共交通の課題と
未来を見据えた町の施策は

答

新たな施策は無いが、公共交通の確保は
大きな課題 幹事会にて議論し努める

【Q】 神奈中バスの減便施策に対して、町民はとても不便を感じ、今後路線廃止の噂もあり将来に対しても不安だ。町行政として町民の足確保に対しバス減便ありきの受け身ではなく積極的な交渉はあるのか。

【A】 従来は神奈中バスからの決定事項の報告という進め方が強かったが、今後は地域公共交通活性化協議会の中に幹事会を立上げ、今年度内に4回開催し神奈中バスの対応を集中的に議論していく。

【Q】 現状、にのバスの問題点や改善点はあるか

【A】 令和6年度の利用者も一日当たり平均119人となり順調に増えている。交通系ICカードも利用可能となり利便性も向上。改善点あるが特に弱点は無い。

【Q】 にのバスの子ども運賃を令和6年度の7～9月に無償化した施策の効果やその後の利用実態は。

【A】 7月と9月の暑い時期の通学利用者が増えた。その後も通常利用で有料となった後でも一定の子どもが継続的に利用している傾向がある。

【Q】 この先公共交通の減便が続いた場合、町として次の策を打つ時期やコミバスを増車するなどのボーダーラインはあるのか。また対応を検討しているか。

【A】 まさにそうならないように、これから実施予定の幹事会で議論を進めて行きたいと考えている。

【要望】 バス路線の縮小は外出の機会を奪い、社会的な孤立を招き健康寿命短縮の恐れがある。通院や買物に利用される路線廃止、減便を許すな。



更なる利用者増と工夫が望まれるコミュニティバス



無所属
小笠原陶子

問

地域公共交通のために人材育成支援と
対策は 町社協で送迎支援に車購入は

答

認定ドライバー養成講座の実施とタク
シー券配布 社協の送迎は考えていない

【Q】 町の地域公共交通計画にある地域ボランティアの設立支援と、人材育成支援の現状と対策は。また、神奈中バスは運転手不足で、更に減便や廃便が予想され、対策に町独自で新たな交通手段を考えていく必要がある。当該エリアの利用者の声を集めなければ事業の成功は難しい。現状の説明と住民参加こそ解決の道だが。

【A】 移動支援の担い手確保を図るため、外出が困難な方を乗せる際の運転技術などを学ぶ認定ドライバー養成講座を毎年実施。個々の必要性に応じた移動支援策としてタクシー券を交付。令和6年度から、要介護や要支援の認定のない方でも、一定要件を満たす方を対象に拡充を図った。

【Q】 百合が丘全体で見ると通いの場の参加者は減っている。足を痛めて歩けないという方が増えた。送迎があ

れば通える。行政側が例えば、社協に送迎の車を用意するなど、社協は町の事業を補完する団体だから、ある程度の支援でシステムをつくるのが重要だがどうか。

【A】 今の時点で社協に送迎のサービスを何らかの形で担ってもらおうという考えは、町にはない。

【Q】 大磯町では黒岩というエリアでは、2千万円のお金を払って補助路線バスという形でやっている。町の税金で補助路線バスを出すという可能性はあるか。

【A】 補助路線について、金額を上げたとしても、やはり人材の関係で無理だと神奈中から話が合った。

神奈中バスとコミバスを共存させていく。



百合が丘の実証実験。デイサービスの車で買い物へ

一般質問



無所属

大沼 英樹

問

1. 避難所・体育館にエアコン設置を
2. 成年男性の自殺が多い実態について

答

1. 財政と優先順位を考慮して検討する
2. 相談しやすい環境づくりに取り組む

Q 異常な夏の暑さ、熱中症リスク、災害時の避難所機能の低下を鑑み、学校体育館にエアコン設置の必要性を考えるべきと思うがいかがか。

A 授業は指数に基づき中止・振り替えで対応している。教育環境面の必要性は十分認識している。

Q 設置に向け検討や計画は進められているか。

A 研究を始めたところ。補助制度、他市町村の状況、適切な機種の研究に着手。今後整備計画を検討するが具体的な設置時期は明言できない。

Q 子どもの命と安全を優先すべきではないか。

A 財政的な課題を考慮し優先順位を検討する。

【要望】 町民や子どもたちの命を最優先に考えるのは当たり前のこと。優先順位を最上位に位置付け、早急に計画を決定すべきだ。

Q いじめ認定の現状と子どもの成長への影響、教職員の精神的負担への対策は十分か。

A いじめは人権問題であり、全教職員が組織的に対応し、担任一人に負担を負わせない体制をとっている。スクールカウンセラーは教員の相談も受ける。

Q 二宮町は10年間、男性の自殺率が7割を超え統計と比べ高い状態だが具体的な対策は。

A いのちの相談窓口周知やゲートキーパー養成講座を予定している。

【要望】 家庭基盤の弱体化は子どもの孤立と社会の不安定化を招く。町民の命と生活を守る責務を果たすよう要望する。



ゲートキーパー養成講座
11/21町民センター 2 A



無所属

根岸ゆき子

問

フリマアプリ等の活用で
町に出される粗大ごみをリユースしよう

答

町民や事業者の皆様が主体的に取り組
みやすい手法を推奨していく

Q 今年3月、町は地球温暖化対策実行計画の区域施策編を策定。3Rの普及促進もうたわれる。リサイクルとリデュースに比べリユースの優先順位が低いのは理解するものの、10年で直接搬入は58t、戸別収集は8t増えた。そこに含まれる粗大ごみのリユースをスローペースで取り組んではいかがか。

A リユースには課題がある。個人情報の適切な管理、物品を一時的に保管するための場所、中古品の性能や安全性を保障する仕組みが挙げられる。

Q 担当課として研究したことはあるのか。

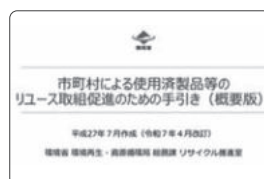
A 斡旋できない関係でリユースショップの事業者を紹介するのが難しく、県への登録制度みたいなものに各店舗の協力を依頼した経緯はある。町として交換掲示板をやっていた時もあった。毎年環境づく

りフォーラムで応援リユースという事業も開催。

Q 国は手引きを作成し、具体的な事業者名を挙げて自治体モデル実証事業の紹介をしている。リユース等の促進に関するロードマップが今年度中に策定され自治体の後押しをする。参考になると思うが。

A 全体的な考え方を申し上げる。決して否定するものではないが、全てに税金がかかる。優先順位が違う。民間サービスを活用した活動をサポートしたい。

【要望】 フリマアプリなどプラットフォームの環境整備に伴い自治体が民間業者と契約して進めるやり方が国手引きにある。情報収集に努めよ。



国は事業者と協働取組する自治体を2030年に300→600目標



無所属
松崎 健

問 ラディアンホール特定天井は地震による脱落の可能性が指摘されている

答 近隣自治体において、そのことに対する注意喚起は行っていない

Q ラディアンホール特定天井の安全性を巡る掲示物は注意喚起になっていない。外部調査機関の評価「地震により天井脱落の可能性が高い。耐震改修工事の検討を要する。」を利用者に知ってもらう必要がある。そもそも指摘を受けて5年間放置していたのは問題だ。

A 近隣自治体では、そのような注意喚起は行っていない。一番大事な地震の初期対応を掲示により周知した。放置したのは反省している。

Q 先の定例会で質したラディアンに続き、町立体育館、町民センター、温水プールの定期調査結果を確認したところ、何れもラディアン同様に指摘事項に対応した形跡は認められなかった。屋上劣化が指摘されていて、2施設で雨漏りに至っている。新庁

舎建設を推進する一方、既存施設をなぜ粗末にする。

A 昭和の時代から事後保全型（不具合があると修繕）でやってきたが、平成の後半から国は予防保全型（不具合の前に修繕）を推奨している。

Q 国が何を推奨しようと、施設を大切に維持管理したいのならそうすればいいだけの話。事後保全型云々は口実。PDCAサイクルが機能しなかった原因は。

A 施設ごとに該当する担当課が点検後に対応している。連携して各課横断的に対応する必要がある。



閉鎖しているのだから
案内板は撤去しましょう



公明党
小林 幸子

問 二宮町でも「ユマニチュード」の技術を学び、取り入れてはいかがか

答 特定の技法を取り入れ、普及することは考えていない。国の動向等にも注視する

Q 在宅で介護を必要とされている方は何人で、その中で認知症の方は何人位か。

A 要介護・要支援認定者数全体で、令和5年10月末時点で1,823人。そのうち認知症の方は、1,057人と推測している。

Q フランスで開発された「ユマニチュード」をご存じか。

A 認知症の方の尊厳や自由を尊重したコミュニケーションやケアの技術の習得により、信頼関係の構築とケアの向上を図るものとして認識している。

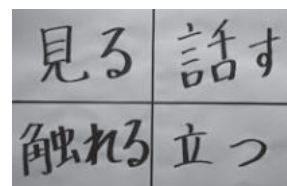
Q 2024年1月1日認知症基本法が施行された。町としては、どのようなことをしているのか。

A 認知症のサポーター養成講座を開催。令和6年度の実績は、町内2校の中学校や二宮高校等も含め、

町の職員、また通いの場などでも実施。今年度は、商工会や金融機関などでも実施している。

Q 150の技術からなる認知症ケア、ユマニチュードの4つの柱とは、見る、話す、触れる、立つこと。4つの柱に加えて5つのステップで実施される。手順は、①出会いの準備②ケアの準備③知覚の連結④感情の固定⑤再開の約束。更に、認知症基本法の7つの理念も考え、町としてユマニチュードの普及を積極的に考えてはいかがか。

A 力を入れている市町村も出始めているようだが、動向を見定めながら、取り入れるところはないか研究はしていく。



ユマニチュード4つの柱
見る、話す、触れる、立つ

総務建設経済常任委員会

●地域活動を支えるグリーンスローモビリティの活用について

―地域との懇談会― (7月27日)

町の中でも山坂が多く、高齢化も進んでいる地域の一つである「富士見が丘・松根地区」の地区長はじめ地域の方と意見交換を行った。既に独自施策で移動支援を進めている団体の方からは、新たなモビリティへの関心とともに期待が示された。



一方で運転手問題や安全管理など様々な意見が出された。地区全体での協力体制など課題を解決し早期導入に繋ぐよう研究を続ける。

―観光協会との懇談会― (8月19日)

自立運営を目的に法人化された観光協会に期待が集まっている中、吾妻山や町内拠点などの観光資源の魅力アップの為に新たなモビリティ活用についての意見交換をしたが積極的な方向では一致しなかった。



教育福祉常任委員会

●教育における子どもの権利

- ・町教育支援室やまびこ視察 (7月29日)
- ・学習会「二宮で育つこどもの未来」で情報共有 (8月6日)
- ・町長と教育長に提言書提出 (9月30日)

不登校児童生徒が全国で40万人超。二宮町でも増加が続き、既存の支援では限界が。不登校特例校(学びの多様化学校)の導入を提言。子どもが自分らしく学び、自立できる環境づくりは、子どもの権利を守る具体的な一歩。

1. 二宮町に適した小中一貫の「学びの多様化学校」を具現化し、不登校で苦しむ子どもたちを減らすこと。
2. 町単独での設置が不可能なら、中郡でなど広域での設置も県等と協議し、検討すること。



●地域包括ケアシステムのこれから

- ・10月に町の介護施設を視察する。

定例会閉会中の 会議日程

全ての会議を傍聴できます。どうぞお越しください。会場は二宮町役場3階です。最新の情報はホームページをご覧ください。

全協：議会全員協議会、議運：議会運営委員会、基本条例：議会基本条例推進委員会、議会だより：議会だより編集委員会

これまでの 会議	日付	会議名	日付	会議名	日付	会議名
	9月 25日(木)	議会全員協議会 議会基本条例推進委員会	10月 3日(金)	議会基本条例推進委員会	17日(金)	議会基本条例推進委員会
	29日(月)	議会だより編集委員会	8日(水)	議会だより編集委員会	20日(月)	教育福祉常任委員会視察
	30日(火)	議会だより編集委員会	10日(金)	議会だより編集委員会	21日(火)	教育福祉常任委員会視察
			15日(水)	議会だより編集委員会	24日(金)	議会全員協議会 議会基本条例推進委員会

これから の会議	日時	会議名	日時	会議名
	10月27日(月)10時	議会基本条例推進委員会	18日(火)13時30分 議運終了後	議会運営委員会 議会だより編集委員会
	11月3日(月・祝) 10時15分～16時	町制施行90周年記念式典 [議会展示] 会場 ラディアン	20日(木)13時30分	議会全員協議会

令和7年 第4回 定例会 日程	日時	会議名
	11月28日(金) 9時 9時30分	議会運営委員会 本会議(議案提案理由説明・付託)
	12月1日(月) 9時30分	各常任委員会(付託案件審査)
	4日(木)、5日(金) 9時30分	本会議(一般質問)
	10日(水) 9時30分	本会議(委員長報告・表決)

議会報告会&意見交換会 11月8日(土)

①中里防災コミュニティーセンター
10:00～12:00

②百合が丘2丁目会館
14:00～16:00

報告・意見交換

○9月定例会の概要 ○決算審査意見
○令和6年度決算 ○常任委員会調査事項ほか

ご都合の良い時間に & 出入り自由です。
皆さまのお越しをお待ちしています。

駐車場若干有り

編集 後記

9月と言えば季節は「秋」。なのに、今年は格別に蒸し暑かった。議会中は空調の温度調整に何度もパネルを触りに行く機会が増えた。学校の給水機を冷水機能付きに、といった陳情や体育館に空調設置希望の話題が出る中、暑さをしのぐ対策は必須。議会一同、学びの環境整備にも早く予算がつくことを願っている。(根岸)

議会だより編集委員

委員長 古谷 健司
副委員長 岡田幸次郎
委員 一石 洋子
小笠原陶子
根岸ゆき子
大沼 英樹



議会へのメール